

派遣受入団体等	都道府県名	香川県	
	団体名	小豆島町	
支援の方法	課題対応アドバイス事業		
本事業を活用しようと考えた目的	地方公共団体情報システム機構による地方公会計標準ソフトウェア関連サービスの提供が終了したことにより、固定資産台帳の管理方法について見直す必要が生じたため、令和3年度固定資産台帳を整備するとともに、令和4年度以降の固定資産台帳を町独自で更新できるよう、作成・整理手順について有識者から専門的なアドバイスをいただくことを目的に本事業を活用することとした。		
スケジュール、主なアドバイス内容	アドバイスを求めた項目	固定資産台帳の整備・早期更新	
	1回目	8月8日	基本的な固定資産台帳に登録すべき資産の整理方法について意見交換。次回に向けた宿題。
	2回目	9月7日	令和3年度取得資産及び建設仮勘定の整理方法について意見交換。次回に向けた宿題。
	3回目	9月28日	令和3年度中に除売却等を行った資産について、日付や残面積等、数量の整理作業。次回に向けた宿題。
	4回目	10月26日	公共施設等総合管理計画及び個別施設計画と固定資産台帳を紐づけていくための方向性の確認。次回に向けた宿題。
	5回目	2月9日	庁内機構改革による固定資産所管課の整理。今後の公共施設等総合管理計画等との連携を前提とした台帳づくりをしていくための意見交換。
本事業を活用した取組の進捗・成果※	令和3年度決算において取得、除売却した固定資産について、資産登録、建設仮勘定等の適切な振分けを行った。また、過年度の固定資産台帳において単位や行政目的別情報の設定ができていないものがあったため補完し、令和3年度末時点での固定資産台帳を整理し、公共施設等総合管理計画や個別施設計画と連携させるための基盤となる台帳整理ができた。		
本事業を活用して良かった点	地方公会計制度が専門的分野であることから、担当職員だけで考えるには行き詰ってしまうため、専門家にアドバイスをいただくことで、課題解決や今後マニュアル化していくための土台作りができた。		
今後本事業の活用を検討する団体へのアドバイス	各分野において実績のあるアドバイザーから、予算措置なしでアドバイスを受けることができ、課題解決に向けて大きく前進することができるので、活用をお勧めしたい。		